市内中学校の部　大賞

桃取と海と弟

鳥羽市立鳥羽東中学校　二年　前田　希美

この夏、弟に水泳を教えた。

まだ泳ぐことは出来ないが、途中少し休憩をしながら休み休みだが、初めてフロートまで泳ぐことが出来た。

それでも弟は大喜びしていた。

その後ろに今年廃校になる桃取小学校が見えた。

来年から鳥羽へ通うことになる弟に、この笑顔があるのだろうかと、少し不安になった。

その時弟が海へ飛び込んだ。

まるで海に包まれたかのように、ゲラゲラ笑っている弟を見て私は思った。

桃取はどこに行っても私達のふるさとだ。

桃取小学校は船で通う弟をまるで見送り出

迎えるかのようにそこに在り続けるだろう。

海は風となり、香りとなって弟についていき見守るだろう。

そして弟はこの夏苦手な水泳に挑戦したように、新しい世界に飛び込んでいくだろう。

たくさんのものに見守られている弟は、きっと笑顔でいられるはずだ。

弟の笑顔は

桃取のきらめく海に負けない

輝いた笑顔にちがいない。